

本社 / 業務本部

業務部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目2-5 トライエッジ御茶ノ水4階

本州事業本部

本州事業部 / 長島山林事務所

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目18-11

北海道事業本部

第一事業部

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目2-2

第二事業部 平取山林事務所

〒055-0107 北海道沙流郡平取町本町54

第二事業部 帯広山林事務所

〒080-0804 北海道帯広市東4条南12丁目20



三井物産フォレストのWebサイトはこちら
<https://www.mitsui-forest.co.jp/>



森の恵みを生かす、
持続可能な未来へ

あたらしい森林づくりを目指して

緑を育み

新しい視点で見直し、持続的な森林経営を目指します。

社会に役立つ

森林の公益的機能の向上に努めます。

明るい会社

業務の改善やコンプライアンスのために自由で風通しの良い会社を目指します。

次の世代へとつながる「持続可能な森林づくり」

三井物産フォレストは、三井物産(株)の100%出資子会社として全国75か所、約45,000ヘクタールの「三井物産の森」を管理しています。

森林管理のエキスパートと現場作業に携わるフィールドワーカーが、高品質の森林管理とサービスを提供しつつ、気候変動対応・水源涵養・生物多様性保全といった森林が有する公益的価値の向上にも努めています。

また、木質バイオマス発電の原料供給など、時代の流れを見据えて長期的に持続可能な社会の構築につながる取組みを提案・実行しています。

時代と共に森林が果たす役割はますます大きくなっています。三井物産フォレストは、次の世代へとつながる「持続可能な森林づくり」を目指します。



「三井物産の森」
全国75か所
約45,000ヘクタール

会社概要

- 商号 三井物産フォレスト株式会社
- 本社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目2-5 トライエッジ御茶ノ水4階
- 事業開始 2004年9月
- 資本金 100,000千円
- 株主 三井物産(株) 100%
- 従業員数 約60名
- 事業内容
 - ・ 林業ならびに山林管理業務
 - ・ 山林の育成業務
 - ・ 山林の伐採および木材販売
 - ・ 山林立木、木材およびその他の林産物の売買
 - ・ J-クレジットの販売

森林認証取得状況

- 2006年 - SGEC CoC 認証を取得
- 2009年 - FSC® CoC 認証を取得



※ SGEC : 2003年に日本で発足した森林認証制度、2016年に国際的な森林認証であるPEFCと相互承認
 ※ FSC : 1994年に国際的なNGOなどが集まり発足した国際的な森林認証
 ※ CoC : 森林認証における流通にかかわる認証

SDGsへの貢献

日本の森を未来に残すため、当社ではSDGsへの貢献として林業のサイクルを崩さずに循環させるなど、環境に配慮した林業経営を進めています。



受け継いだ森～未来につなぐ森

三井物産フォレストは、これまで受け継いできた森を守り、「経済」「環境」「社会」の3つの観点を軸に次の世代に大切な緑の資源を絶やすことのないよう、持続可能な森林管理を目指しています。



木材流通事業

間伐や主伐事業により生産される製材・合板などに利用される原木と、形質や材質の問題からそれらに適さないバイオマス発電用の原料の生産、ならびに調達から販売までカスケード利用における木材流通事業を展開しています。

経済

森林管理事業

自社による植栽から伐採までの一貫した作業システムを構築し、現場に最も適した作業による森林管理を行っています。また機械化による安全作業、航空レーザーセンシングやドローン活用によるICTスマート林業へも取り組んでいます。



環境



社会への取組み

学生などを対象に「三井物産の森」で行う間伐体験や、学校に訪問して出前授業を行うなど、地域社会とのかかわりを築くとともに、林業を通じてアイヌ文化の保全や振興に協力するなど、地域の伝統や文化への支援を行っています。

社会

